



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

中国・四国予選 赤坂レイクサイド CC (岡山県)

予選大会結果

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 中国・四国予選>

◇2015年3月7日(土) 天候:雨

◇岡山・赤坂レイクサイド CC (15-17歳男子 6451 ヤード、パー72 ほかカテゴリー別)

◇出場82人

<中国・四国予選 概況>

15-17歳の部男子で、板東篤司(香川・香川西高2年)が、降り続く雨の悪コンディションの中、イーブンパー 72 にまとめて1位で決勝大会(5月5~7日、岐阜・花の木GC)に駒を進めた。同級生のライバルを目標に、世界ジュニアを目指す。同女子の部では、垣 優菜(鳥取・米子北斗中3年)が5バーディー、6ボギーの出入りの激しいゴルフながら1オーバー73で回り、トップ通過を果たした。13-14歳の部では、男子は昨年の香川県ジュニア優勝の落合凌(香川・高松北中2年)が2オーバー74、女子は雪野若葉(兵庫・山口中2年)が10オーバー82で、ともに1位で決勝大会に進んだ。

決勝大会進出者は以下の通り。

<中国・四国予選大会 結果> *敬称略

▽15-17歳男子

【1位】板東篤司(香川・香川西高2年) = 72

【2位】定藤玄輝(広島・鳳中3年) = 73

【3位】河本 力(愛媛・久米中3年) = 73

【4位】吉田泰基(香川・香川西高2年) = 75

▽同女子

【1位】垣 優菜(鳥取・米子北斗中3年) = 73

【2位】山本彩乃(山口・高川学園中2年) = 75

【3位】後藤田寧々(香川・香川西高1年) = 75

▽13-14歳男子

【1位】落合 凌(香川・高松北中2年) = 74

【2位】米原海斗(鳥取・後藤ヶ丘中2年) = 76

▽同女子

【1位】雪野若葉(兵庫・山口中2年) = 82

▽11-12歳男子

【1位】上野麟欧(兵庫・兵庫教育大付小6年) = 72

【2位】久常 涼(岡山・広野小6年) = 73

▽同女子

【1位】細田詩織(兵庫・兵庫教育大付小6年) = 82

【2位】久崎 成(岡山・芳明小5年) = 83

▽9-10歳男子

【1位】黒田裕稀（兵庫・八条小4年）＝79

▽同女子

【1位】松本 静（兵庫・御津小4年）＝92

▽7-8歳男子

【1位】進藤太雅（兵庫・西須磨小2年）＝79

▽同女子

【1位】酒井理琴（大阪・西淡路小2年）＝76

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる。

<中国・四国予選 ハイライト1>

◇15-17歳の部男子 ◇岡山・赤坂レイクサイドCC（6451ヤード、パー72）

板東篤司（香川・香川西高2年）が、雨の中をイーブンパー72の好スコアをマークして、決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）に進んだ。インスタートの10番で手前のバンカーに入れ、目玉状態でボギー。「緊張してしまった」と振り返ったが、ボギー発進で逆に落ち着いたのか、11番で左6メートルを入れて取り戻す。インをパープレーで折り返し、アウトでは4番で「残り100ヤードをピッチングウェッジでOKについた」と、一時が1アンダーに。「同組の吉田（泰基）君が追い上げてきたので、自分は意識して追いつかれないようにやった。目標にしているんで」と、最終的には吉田を3打上回った。昨年世界ジュニア出場の坂本将規、吉田とも香川西高の同級生でチームメート。「僕が1年のときは、結果が出せなかった。なんとか（2人に）対等に戦いたいと思ってやってきました」という。ライバル意識が、悪コンディションの中でも力になったようだ。決勝大会に向けて「まだアプローチが下手なので、できるだけ練習したい。メンタル面も鍛えたい」と意欲を見せていた。

<中国・四国予選 ハイライト2>

◇15-17歳の部女子 ◇岡山・赤坂レイクサイドCC（6072ヤード、パー72）

垣 優菜（鳥取・米子北斗中3年）が「自分らしくない」という出入りの激しいゴルフながら、73で回って決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）に1位で進んだ。2番で3メートルにつけるなど5バーディーを奪う一方、3、4連続など「アプローチが悪くて、グリーンを外したのが全部ボギーになってしまった」と6ボギー。いつものゴルフは「4つ、5つボギーがあって、バーディーはあまり取れないゴルフ」という。水泳を3日でやめるなど「運動オンチ」だったが、小4でゴルフに出合ってからめり込んだ。「今回、課題がアプローチだとあらためて分かった」と反省。「グリーン周りをたくさん練習して、決勝大会に備えたい」と、前向きに話した。

<中国・四国予選 ハイライト3>

◇13-14歳の部男子 ◇岡山・赤坂レイクサイドCC（6451ヤード、パー72）

落合 凌（香川・高松北中2年）が「ため池練習」の成果をみせた。「昨日の練習でショットが曲がっていたんで、きょうはトップをコンパクトにしてやってみた」と、2バーディー、4ボギーの74をマークして、トップで決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）に進出した。普段は香川県に多いため池を利用した練習場で「池に向かって打つんですけど、距離とかがあいまいなんで、コースでも見た目でも打つことも多い。最終的には自分の勘です」と、感性を磨いてきた。前半は8ホールでパーオンするなどイーブンパーで回り、雨の中で「勘」がさえた。後半は「力が入ってリズムが速くなってしまったけど、しのげたと思う」と振り返った。昨年は香川県ジュニアを制したが、四国ジュニアは5位とあと一歩で日本ジュニア出場を逃した。「今年の第一目標は世界ジュニアに出ること。海外に行ったことがないから行きたい」と意気込んでいた。



写真： 左／板東篤司（15-17歳の部男子）、中央／垣 優菜（15-17歳の部女子）、
右／落合 凌（13-14歳の部男子） 写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5